

足利市の「人権擁護委員」

足利市人権擁護委員協議会

足利部会活動記録

市民の身近な相談パートナーとして、多様な活動を行っている人権擁護委員の活動の一部を紹介します。

◎足利市ふれあいのつどい

今年度も人権擁護委員ブースを開設し、人権イメージキャラクターKEN Nまもる君、人KEN Nあゆみちゃんのマスコットの登場や啓発物品の配布などで来場者へ啓発活動を行いました。  
期日…令和元年5月19日(日)  
場所…足利市民体育館

人権擁護委員

「身近な相談パートナー」

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱された民間ボランティアの方たちで、人権相談や各種啓発活動、人権侵害被害者の救済のお手伝いなどを行っています。ひとりで悩まず人権擁護委員までご相談ください。

【お問い合わせ先】

0570-0003-110  
(みんなの人権110番)

◎人権の花運動

毎年、市内小学校4校で実施し、小学校在学6年間の中で一度だけ体験できる事業です。この事業は、児童が互いに協力しながら花を栽培することで、命の尊さを実感することを目的としています。

今年度は、毛野南小学校、名草小学校、梁田小学校、小俣小学校で実施しました。各小学校では、児童自ら鉢から花壇に花を植えたり、水を与えたりし、生育状況や開花の様子を観察記録や感想文にまとめるなどして、人権学習に取り組みました。

- 人権の花運動実施後の児童アンケートから抜粋し、花も人間と同じで命があるなんて、はじめて知りました。お友達といっしょにできてよかったです。
- 人権の花を大切にします。もっと花を咲かせたいです。
- ちゃんと元気に育ってほしいと思いました。

花がきれいだと気持ちもすっきりする感じがした。あらためて花の事を考えてみて、花つて良いなと思った。



贈呈式当日に花壇に花を植えた学校も!



お花を代表の児童に手渡し



毛野南小学校では贈呈式の後の人権教室にまもる君とあゆみちゃんも登場



「足利市には日本遺産・足利学校があります。そして学校には論語があり、今、小学生たちも論語の素読をしています。その論語の中に「恕」\*の言葉があります。足利市民は互いに認め合い、思いやり、住み良い、明るい街にしていきたい」との思いから名づけられました。

\*「恕」…「思いやり」のこと。

「子貢問いて曰わく、一言にして以て終身之れを行うべき者有りや、と。子曰わく、其れ恕か。己の欲せざると所、人に施すこと勿かれ、と。」

(書さ下し文：足利市教育委員会編集・発行「論語抄」から)

題字の「おもいやり」とは